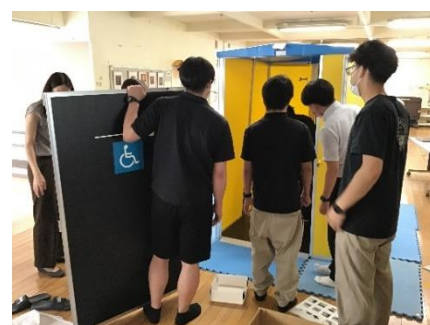


降り注ぐ日差しにはまだ少し暑さを感じますが、肌に触れる風はひんやりと心地よく、秋の訪れを知らせてくれているようです。

さて、防災課では職員向けの夏季防災研修と防犯研修を行いました。どちらも外部の専門家を招き、ご指導いただきました。今回の防災課だよりでは研修の様子をご紹介します。

夏季防災研修(福祉避難所について)



本校が市から指定を受けている福祉避難所について、静岡 DWAT (静岡県災害派遣福祉チーム) から講師を招き、研修を行いました。講話では、設営の流れや運営方法を教えていただき、本校の役割を検討したり備蓄器材を確認したりしました。備蓄器材の確認では、仮設トイレ設置体験や発電機稼働体験を行いました。また、静岡 DWAT 様からお借りして段ボールベット組み立て体験や移動支援用具の使用体験も行いました。普段扱うことのない器材を体験でき、有意義な時間となりました。万が一のときに地域の助けとなれるよう、福祉避難所についての理解を深めることにつながったと思います。

職員防犯研修・不審者対応ミニ訓練

中央警察署から講師を招き、不審者侵入時の対応について訓練を通して教えていただきました。不審者を児童生徒から隔離し、校外退去や警察への引渡しにつなげるため、基本的な行動や防犯器材の効果的な扱い方を学びました。特に、複数人での対応や速やかな 110 番通報の大切さを改めて確認する機会となりました。コロナ禍では 2 年ぶりの実施となり、不審者侵入時の職員一人一人が取るべき行動がより明確になったと感じます。

さらに職員研修の翌週は教育活動中の不審者対応訓練も行い、児童生徒を守る行動と不審者対応を同時進行で行い効率的に、かつ安全に不審者を隔離する動きを確認しました。

